

平成28年度 農山漁村振興交付金(都市農村共生・対流及び地域活性化対策) 事業実施主体 評価一覧

●地域資源活用対策及び人材活用対策

【活動計画策定】1件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階					評価	評価コメント
				H28	H29	H30	H31	H32		
沖縄	沖縄県	本部町	本部町具志堅地区田園空間施設利活用推進協議会	●	○	□	—	—	A	<p>本事業の開始前は、拠点となる田園空間施設(田空の駅ハーソー公園)は、認知度が低く、利用者は限定されており利用者数、売上は低い状況であった。本交付金の活用により、事務局である「もとぶバイオマス事業協同組合」を中心に行政機関や観光協会等と連携し、円滑な事業執行を実現した。</p> <p>また、田空ヤギ祭りやリュウキュウベンケイソウ花祭りなど新たなイベントを開催したことで、メディアに掲載されるなど認知度の向上が図られた。</p> <p>目標については、交流人口、売上、雇用ともに達成しており、現時点では事業の効果を十分に発揮していると認められ、将来性が期待できる取組である。</p> <p>今後は事業の継続を図りつつ、より広く県内外へのアピールに努めることも重要である。</p>

【農山漁村の「食」を活用し、観光と連携したグリーン・ツーリズム】1件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階			評価	評価コメント
				H28	H29	H30		
沖縄	沖縄県	宮古島市	伊良部島食と暮らし事業協議会	●	○	□	A	<p>伊良部島では伊良部大橋の開通により増加している観光客等への対応が課題となっており、農漁業体験やまち歩きなどの体験プログラムの充実が求められている。今回、宮古島観光協会を中心に本交付金を活用しつつ、行政機関や伊良部島内の7集落などが連携し円滑に事業を実施した。</p> <p>これまでの実績では、食の聞き書き調査や伊良部島食文化・料理講習会など、計画よりも多くの取組を実施しており、本事業を十分に活用している。</p> <p>目標については、交流人口、売上、雇用ともに達成しており、本事業の効果を十分に発揮していると認められる。</p> <p>今後は伝統的な魚食に向けた取組も更に進めて頂きたい。</p>

(注1) 「事業実施段階」の凡例: ○…交付対象年度(計画) ●…交付対象年度(実施済) □…目標年度(計画) ■…目標年度(実施済)

(注2) 「評価」の区分: A…優良 B…良好 C…低調

【平成28年度農山漁村振興交付金(都市農村共生・対流及び地域活性化対策)の評価概要】

○地域資源活性化対策

今回の評価では、平成28年度に採択された、2団体(本部町具志堅地区田園空間施設利活用推進協議会及び伊良部島食と暮らし事業協議会)の事業実施結果について評価を行つた。

2団体ともに農山漁村推進計画及び事業実施計画に基づく取組が実施され、本交付金により各団体の地域の課題解決、交流推進等の取組基盤が強化され、成果が出ていると認められることから評価は「A」となった。

【平成28年度農山漁村振興交付金(都市農村共生・対流及び地域活性化対策)評価委員会の議事概要】

【評価委員会】

1. 日 時 平成29年9月29日(火) 14時00分～15時00分

2. 場 所 沖縄総合事務局 会議室

3. 出席者

・評価委員会委員 3名 (五十音順)

幸喜 徳子 沖縄石油ガス株式会社代表取締役会長

杉村 泰彦(委員長) 琉球大学農学部准教授

有木 真理 株式会社リクルートライフスタイル沖縄代表取締役社長

・評価委員会事務局

沖縄総合事務局担当者 2名

4. 議事概要

1)農山漁村振興交付金(都市農村共生・対流及び地域活性化対策)の評価について

・2事業実施団体の評価内容(案)について、委員からの意見聴取を行つた。

2)農山漁村振興交付金(都市農村共生・対流及び地域活性化対策)の評価結果(案)の取りまとめ

・上記1)の結果を踏まえ、2事業実施団体の評価結果(案)について、公表用評価コメントを様式に取りまとめた。

5. 評価委員会委員の主な意見

①本部町具志堅地区田園空間施設利活用推進協議会

・一つ一つのイベントの実行やコンテンツ発信がとてもよい。一方で、より良くするために、地域の売りをより深掘りし整理し、この地域の活動を一言でまとめられるキャッチフレーズがあるとより発進力が上がると思われる。

②伊良部島食と暮らし事業協議会

・食にフォーカスすることで、地元の方が伊良部島の魅力を再認識することにより、地域経済の活性化に繋がっている。料理指導の講師に伊良部島出身の内地移住者を選んでいるのが良いと思う。

担当者:沖縄総合事務局農林水産部農村振興課